



2024年2月6日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A V I L E N
代 表 者 名 代 表 取 締 役 高 橋 光 太 郎
(コード番号：5591 東証グロース市場)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 C F O 錦 拓 男
TEL. 03-5823-4694

南海電気鉄道株式会社の部長層にデータ活用スキル育成プログラムを提供決定

株式会社 AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：岡嶋信行、以下「南海電鉄」）の部長層に対しデータ活用スキル育成プログラムを提供し、全社横断の DX を推進するための組織開発・人材育成を支援いたします。



1. 背景・課題

南海電鉄は中期経営計画の事業戦略のひとつ「未来探索」において、全ての成長戦略を加速させる土壌として DX 戦略を推進（※1）。取り組みを進めていくなかで、DX 推進のカギとなる部長層の「データ利活用」をはじめとした DX にまつわる領域の知識および、データドリブンな意思決定を行っていくためのマインドセットと組織風土を一律で醸成し、DX 推進を加速させていきたいというニーズがありました。

※1 出典 | 南海電鉄ホームページ IR 情報

(https://www.nankai.co.jp/ir/management/medium-term_management_plan)

2. 支援予定の内容・期待する効果

南海電鉄に対し、AVILEN は「データ活用スキル育成プログラム」の提供を通じて下記の支援を行います。

- ① データ利活用を中心に、DX に関する体系的な研修機会の提供
 - 客観的な事実やデータに基づいた判断を行うために必要な知識と視点の習得
 - デジタルを前提とした顧客ニーズ・課題の把握と、そこから得られる示唆を事業・業務の改善に活かす発想力の向上

② DXを推進する組織風土の醸成

多様な価値観・専門性を持った社内外のステークホルダーと協業しながら、DXの新たな取り組みを創出し、施策をアジャイルに推進していくマインドセットの獲得

「データ活用スキル育成プログラム」はデジタルスキル標準（※2）に基づき、AVILENのビルドアップパッケージ「データ活用研修」と「DXリテラシー研修」のコンテンツを再編し、南海電鉄向けに専用カスタマイズした人財育成プログラムです。

※2 | デジタルスキル標準は、経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が取りまとめているDX推進人材向けの知識やスキルの指針です

（https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/main.html）

3. 今後の見通し

本件による当社の業績へ与える影響は軽微です。

以 上